

創業者 河上新一

楡印刷 社名の経緯

北国に根を降す「楡の木—ハルニレ」が、大きく枝を張って構える姿は、逞しく美しく堂々としていて、実に見事である。そして樹齢が 200 年以上にもなるなど商標として使用するには格好なりと判断し「楡」を冠したものである。北大キャンパスは幼小の頃から私の遊び場で、特に水泳競技を上達させたのは森の中に点在した 3 個所の水泳プールであり、また野球やラグビー競技も同様、森の中の広い空間を縦横無尽に仲間と駆け廻ったものである。1955 年の起業に当り社名として選択・採用した次第。

ニレ（楡）—ハルニレ—エルムについて

北海道に自生し春に花をつけることからハルニレと呼び、これに対して本州に分布するアキニレは秋に開花するのでアキニレと呼ぶ。ハルニレを別名アカダモとも呼ぶ。文献によると寒地に産する落葉樹喬木とある。

札幌にはこのハルニレが多く自生し、特に北大の敷地には樹齢 100 年以上のものが 1,000 本近くもあったとか。この北大キャンパスにハルニレが中心となって森を形成し、北大の森、エルムの森—エルムの学園の愛称で親しまれて今日に至る。電話番号帳を開くと飲食店や理美容店、マンション、洋装店、出版社に出版物等々が、「楡」や「エルム」の名称で多くを見かける。